

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第396号 平成26年10月



東日本大震災「復興支援ボランティア」を実施
(関連記事5ページ)



「日韓教育実習プログラム(派遣)」を韓国の協定大学で実施
(関連記事6ページ)



附属小学校「うれしのカーニバル」を開催(関連記事8ページ)

目 次

- ◇学 事 2
 - ・平成27年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験(8月選抜)合格者状況
 - ・寄附金
- ◇人 事 3
 - ・人事異動
- ◇諸 報 3
 - ・連合学校教育学研究科代議委員会
 - ・連合学校教育学研究科教授会
 - ・国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
 - ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会
 - ・附属小学校及び附属中学校で国際交流授業を実施
 - ・市町村教育長セミナー(東北ブロック)を開催

- ・東日本大震災「復興支援ボランティア」を実施
- ・科学研究費助成事業説明会を開催
- ・「日韓教育実習プログラム(派遣)」を韓国の協定大学で実施
- ・「国際理解プログラム(派遣)」をアメリカ・ウィスコンシン州立大学オークレア校で実施
- ・韓国京仁教育大学校学部学生の受入事業「日韓教育実習プログラム」を実施
- ・平成26年度9月期学位記授与式を挙
- ・附属小学校「うれしのカーニバル」を開催
- ・学部3年次学生合宿研修を実施
- ・加東市との連携講座「子育て支援講座(第4回)乳幼児の魅力～驚くべき能力とそれを育む環境とは～」を開催
- ◇主要日誌 9

— 学 事 —

○平成27年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（8月選抜）合格者状況

平成27年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（8月選抜）を8月16日（土）に実施し，9月5日（金）に合格者を発表した。

専攻・コース別の合格者数等は次のとおりである。

課程	専攻	コース		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
			クラス					
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース		昼間クラス	7	9 (1)	9 (1)	10 (1)
				夜間クラス	若干人			
		幼年教育コース		昼間クラス	7	6 (1)	6 (1)	6 (1)
				夜間クラス	若干人	3 (2)	3 (2)	3 (2)
		学校心理・発達健康教育コース		昼間クラス	10	13 (7)	12 (6)	10 (6)
	夜間クラス			若干人	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
	臨床心理学コース		昼間クラス	20	70 (7)	67 (7)	42 (5)	
	特別支援教育専攻	障害科学コース			15	15 (5)	13 (4)	12 (5)
		特別支援教育コーディネーターコース			8	4 (4)	4 (4)	4 (4)
	課程	教育内容・方法開発専攻	認識形成系教育コース	社会系教育分野	昼間クラス	12	16 (6)	14 (4)
夜間クラス				若干人				
自然系教育分野 (数学, 理科)			昼間クラス	12	19 (7)	17 (7)	14 (7)	
			夜間クラス	若干人	1 (1)	1 (1)		
文化表現系教育コース			言語系教育分野 (国語, 英語)	昼間クラス	14	15 (8)	15 (8)	14 (8)
			夜間クラス	若干人				
芸術系教育分野 (音楽, 美術)		昼間クラス	10	5 (2)	5 (2)	5 (2)		
		夜間クラス	若干人	2 (1)	2 (1)	2 (1)		
行動開発系教育コース スポーツ健康系教育分野(保健体育) 応用生活系教育分野 (技術・家庭, 工業, 情報)		昼間クラス	14	11 (3)	10 (3)	11 (3)		
夜間クラス		若干人	1	1	1			
小 計				129	192 (57)	181 (53)	151 (51)	
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース		昼間クラス	14	7 (7)	7 (7)	7 (7)
				夜間クラス	若干人			
		授業実践開発コース		昼間クラス	20	17 (10)	16 (9)	15 (9)
				夜間クラス	若干人			
	生徒指導実践開発コース		昼間クラス	14	6 (3)	6 (3)	7 (4)	
	夜間クラス		若干人					
	小学校教員養成特別コース			20	34	33	27	
小 計				68	64 (20)	62 (19)	56 (20)	
合 計				197	256 (77)	243 (72)	207 (71)	

- (注) 1. 志願者数及び受験者数は，第1志望によるものを示す。
 2. ()内の数は，3年以上の教職経験を有する現職教員（同意書無しを含む）を内数で示す。
 3. 合格者欄は，第2志望による合格者を含む。

○寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額（円）
兵庫教育大学附属幼稚園 育友会 会長 大関達也		兵庫教育大学附属幼稚園の教育 研究の振興・充実等のため	540,000
兵庫教育大学院同窓会 会長 大橋博		大学院学校教育研究科在学生に 対する研究助成のため	1,000,000
特別支援教育専攻 准教授 石倉健二	特別支援教育専攻 准教授 石倉健二	石倉健二准教授の学術研究助成 のため（公益財団法人明治安田 生命こころの健康財団）	500,000

— 人 事 —

○人事異動

1. 役職者

(1) コース長・分野長

平成26年9月4日付

職 名 等	氏 名	備 考
認識形成系教育コース長事務代理	南 埜 猛	
認識形成系教育コース 社会系教育分野長事務代理	南 埜 猛	

(2) 学部コース責任者

平成26年9月4日付

職 名 等	氏 名	備 考
社会系コース責任者事務代理	南 埜 猛	

2. 事務職員

(1) 採用

平成26年10月1日付

職 名 等	氏 名	備 考
総務課総務チーム課員	上 垣 愛	
学生支援課学生支援チーム事務補佐員	大城戸 聡 子	

(2) 退職

平成26年9月30日付

元 職	氏 名	備 考
学生支援課学生支援チーム事務補佐員	竹 西 雅 子	

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第6回 平成26年9月4日(木)

(議題)

- 1 平成27年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験[11月選抜]の学生募集人員について
- 2 平成27年度大学院学校教育研究科(修士課程)外国人留学生特別選抜(指定校推薦)学生募集要項について
- 3 大学教員の業績評価指針等の一部改正について
- 4 教員の選考について
- 5 教員の選考開始について
- 6 特別支援教育モデル研究開発室設置要項の一部改正について
- 7 受託研究の受入れについて

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会

第5回 平成26年9月4日(木)

(議題)

- 1 教員候補者についての意見の取りまとめについて
- 2 平成26年度9月期修了認定について
- 3 平成27年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験[8月選抜]の可否判定,理数系教員養成特別プログラム受講許可及び長期履修学生の許可について
- 4 平成27年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験[11月選抜]の学生募集人員について
- 5 平成27年度大学院学校教育研究科(修士課程)外国人留学生特別選抜(指定校推薦)学生募集要項について
- 6 学校図書館司書教諭講習相当科目の開設について
- 7 平成26年度授業科目担当教員の変更等について
- 8 学生の学籍異動について
- 9 科目等履修生の選考について
- 10 研究生の選考について
- 11 研究生の学籍異動について

○連合学校教育学研究科代議委員会

第4回 平成26年9月3日(水)

(議題)

- 1 研究科教員の認定について
- 2 論文提出による博士の学位申請資格審査会の設置について
- 3 学生募集要項等に記載の各連合講座の「内容」表記の見直しについて
- 4 博士候補認定試験の実施について
- 5 平成27年度学生募集要項について
- 6 博士研究生の入学について
- 7 平成26年度授業料免除(前期分)について

○連合学校教育学研究科教授会

第2回 平成26年9月3日(水)

(議題)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否について
- 3 代議委員会の審議経過について

○附属小学校及び附属中学校で国際交流授業を実施

9月1日(月)～27日(土)の間、附属小学校及び附属中学校において、兵庫県国際交流協会の事業の一環であるひょうご海外研修員のマキシム・シャマランド氏(フランス)を受け入れた。附属小学校では、4年生に国際交流授業を実施し、子どもたちはフランスの有名な建物やお菓子などの話に聞き入っていた。また休み時間や給食の時間には言葉の壁を越えて理解し合おうと努めることができた。附属中学校では、2年生の英語授業の中で生徒とコミュニケーションを図った。また、体育の授業や体育祭の練習を共に行い、交流を深めることができた。



○市町村教育長セミナー(東北ブロック)を開催

9月14日(日)、15日(月・祝)の2日間、東北大学百周年記念会館川内萩ホールにおいて、東北地方の市町村教育長を対象に、市町村教育長セミナー(東北ブロック)を開催した。

初日は、上口孝之理事・事務局長が開会挨拶を行い、オリエンテーションに引き続き、伯井美徳文部科学省大臣官房審議官(初等中等教育局担当)により「教育政策の動向と課題」と題し、講義が行われた。午後からは、教育行政能力育成カリキュラム開発室と、事業に協力いただいている株式会社リクルートマネジメントソリューションズにより「リーダーのための課題解決スキル～情報収集～」と題した演習が行われた。2日目は、越直美滋賀県大津市長により「新制度下における新教育長への期待～大津市の事例から～」と題した講義とフロアとの意見交換が行われた。午後からは、前日に引き続き、「リーダーのための課題解決スキル～問題分析～」と題

した演習が行われた。最後に、日渡田教育行政能力育成カリキュラム開発室長よりセミナー全体を振り返り、閉会の挨拶、及び修了証書の授与が行われた。

セミナーに参加した教育長は、盛んに質疑を行い、アイデアを披露し、全員が積極的に参加するセミナーとなった。



○東日本大震災「復興支援ボランティア」を実施

9月16日(火)～20日(土)の5日間、学部生、大学院生24人が参加し、東日本大震災の被災各地で復興支援ボランティア活動を行った。4年目を迎える今回は、宮城県南三陸町での2日間の復興支援活動と、岩手県陸前高田市から大船渡市、釜石市までを1日かけて巡る震災学習を中心に実施した。

活動初日には、南三陸町の漁港の加工場で牡蠣の殻磨きの作業を、翌日には、別の地区の漁港で養殖筏に取り付ける土のう作りを行った。3日目は、復元された陸前高田市の奇跡の一本松などを見学し、大船渡市の津波伝承館で津波の被災体験談を聞いた後、三陸鉄道の盛駅から釜石駅の間を走る「震災学習列車」に乗車し、震災の日を境にした被災地の現状について学んだ。また、活動の合間には、復興を担う地元の商店主が軒を連ねる「復興商店街」などをいくつか訪ねた。

4泊5日(車中1泊)の日程で、往復およそ2,300キロにも及ぶバスでの長旅であったが、参加者にとっては、このボランティア活動を通して、いまだ震災の爪痕を残し、復興の途上にある被災地の現状を、実際に足を運んで自分の目で見て、耳で聴いて、で感じることができた貴重な体験となった。



○科学研究費助成事業説明会を開催

9月18日（木）、共通講義棟において、科学研究費助成事業説明会を開催し、教職員20人が参加した。

この説明会は、科研費の申請、獲得及び公的研究費の適正な使用を図ることを目的として実施したもので、当日は福本謹一理事・副学長の挨拶の後、教育内容・方法開発専攻の中田賀之准教授から「科研費申請書類作成：読んでもらうために私なりに気をつけたこと」と題した講演が行われた。

中田准教授は、これまでの科研費の採択経験を基に、研究計画調書作成の留意点などについてわかりやすく解説し、特に申請書作成経験の少ない研究者にとっては大変参考になる内容であった。

また、研究支援課から「科研費の応募について」、財務課から「研究費の不正使用の防止について」の説明が行われ、科研費申請、獲得及び公的研究費の執行に役立つものとなった。



○「日韓教育実習プログラム（派遣）」を韓国の協定大学で実施

9月21日（日）～28日（日）の8日間、韓国の協定大学である京仁教育大学校、大邱教育大学校において、「日韓教育実習プログラム」を実施した。

このプログラムは、韓国の学校現場で先進的に取り組まれているICT教育や英語教育を学び韓国の文化を体験し、日本と韓国の文化の相違に対する理解を深め、国際化時代に相応しい教員としての素養を身に付けることを目的としたものである。

実習前半は、京仁教育大学校を訪問し、学生間交流や施設見学を行い、同大学の附属小学校、近隣の仁川市内の小学校における授業見学を通して、韓国の先進的な英語教育の取組について学んだ。また、韓国の文化体験としてキムチ作りやチマチョゴリ試着体験なども行った。

実習後半では、大邱教育大学校を訪問し、本学の参加学生と大邱教育大学校で学ぶ現職教員の大学院生との間で「日本と韓国の教育事情について」をテーマとしたディスカッションを行った。また、同大学の附属小学校2校と近隣の大邱市内の小学校で授業を見学し、実際に英語の授業に参加することなどによって、韓国の小学校教育に対する理解を深めた。韓国の文化体験では、安東河回村を見学し韓国の歴史について学んだ。

参加者からは「他国の教育を見ることができ良い経験になった」、「韓国の英語教育の進み方に感心した。また、子ども達の英語の発音がとてもすばらしい」などの感想が寄せられ、訪問先大学校の教職員の親切な対応に感謝し、8日間という短いプログラムではあったが貴重な成果を得ることができた。



○韓国京仁教育大学校学部学生の受入事業「日韓教育実習プログラム」を実施

9月22日（日）～28日（日）の7日間、韓国京仁教育大学校の学部学生10人を受け入れ、「日韓教育実習プログラム」を実施した。

このプログラムは、将来教員を目指す韓国の学生が日本の教育現場を体験することにより、韓国と日本との教育制度や文化の違いを理解することを目的としている。プログラムでは、加東市内の公立小学校を訪問し、授業参観を通じて日本文化を学んだ。また、韓国のゲームを紹介することを通じて、児童とも直接親睦を深めるなど日本の教育現場を自ら体験した。学内においては、国際交流会館に滞在し、日本の教育制度に関する授業を受講した。さらに、日本人学生や留学生たちとの学生交流を行うなど、本学でのキャンパスライフを満喫した。

日本文化研修では、大阪、京都を訪れ、それぞれの異なった文化を学んだ。なかでも京都では和文身体験として着物を試着し、清水寺を散策するなど、日本の歴史や文化に直接触れる機会を持った。また、加東市国際交流協会の協力のもと、日本の一般家庭への1泊2日の日程でホームステイが行われ、日本文化の体験をさらに深めた。

参加した学生からは、「7日間という短い研修期間ではあったが、韓国と日本の教育制度の違いや日本の学校教育現場が数多く学べたことや、日本の一般家庭の温かさに触れられたことで、とても良い経験となり、大変有意義な研修だった」等の感想が寄せられ、全員が満面の笑みで帰国の途についた。



○「国際理解プログラム（派遣）」をアメリカ・ウィスコンシン州立大学オークレア校で実施

9月22日（月）～10月1日（水）の10日間、アメリカ・ウィスコンシン州立大学オークレア校において、「国際理解プログラム」を実施した。

このプログラムは、学生の教員養成、特に小学校の外国語教育、国際理解教育の指導力向上を目的とするものである。プログラムでは、大学での講義や英語レッスンを受けるとともに、近郊のロビンズ小学校での授業見学を行い、少し緊張しながらも積極的にコミュニケーションを図る学生の姿が見られた。また、一般家庭でのホームステイを通して異文化に対する理解を深めた。参加者からは、「日本とアメリカ教育の違い、学生の学習に対する価値観の違いを肌で感じた」、「この10日間、どの部分をとっても刺激的で学びの多い時間だった」等の感想が寄せられた。



○平成26年度9月期学位記授与式を挙

9月24日（水）、平成26年度9月期学位記授与式を挙行し、大学院学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）修了生5人、大学院連合学校教育学研究科（博士課程）修了生等3人（課程修了1人、論文提出2人）に学位記の授与を行った。



○附属小学校「うれしのカーニバル」を開催

9月27日（土）、附属小学校において、「みがけ附小の団結力～分かち合おうくやしさをうれしさ仲間とともに～」のテーマのもと、第29回「うれしのカーニバル」を開催した。

カーニバルは、身体的な表現を中核とした総合学習（集団表現領域）の発表の場として、また、綱引きやリレー等のスポーツに全校生で親しむ場として位置づけられている。ミュージカルは、「生きることは表現すること」と考え、今年は赤組「宝石」、黄組「ライジングスター」、青組「風神」という色別のシンボルに合わせたストーリーを1学期から児童と教師がともに創り上げてきた。当日は、身体、音楽、言語、造形が一体となった表現を、全児童が精一杯発表した。リレー、綱引き、玉入れ、大玉運び等の色別の対抗種目においても、持てる力を出し切った。接戦の末、青組が熱い戦いを制した。

全力を出し切った子どもたちに会場からは大きな拍手が鳴り響き、子どもたちの表情には、やりきった満足感と表現しきった充実感があふれていた。



○学部3年次学生合宿研修を実施

9月28日（日）～29日（月）の2日間、加東キャンパス及び国立淡路青少年交流の家（南あわじ市）において、学生及びクラス担当教員他教職員129人が参加し、学部3年次学生合宿研修を実施した。

この合宿研修は、集団の中で相互の人間交流を深め、後半の学生生活を充実させること並びに就職への意識の高揚を図ることを目的に、毎年実施しているものである。

実施した主なプログラムは次のとおりである。

①学長講話

「充実した学生生活のために」（加治佐哲也学長）

②卒業生講話

「在学時に取り組んだことと、今教職に就いて思うこと」（小学校・中学校・幼稚園教諭）

③クラス別討議

「これからの大学生活、キャリアプラン」

④野外炊飯

⑤カッター体験

野外炊飯やカッター体験では、学生の所属コース以外の学生と交流ができた、また、卒業生の体験談は、非常に参考になったという声が多く聞かれた。



○加東市との連携講座「子育て支援講座（第4回）乳幼児の魅力～驚くべき能力とそれを育む環境とは～」を開催

9月30日（火）、やしろこどものいえにおいて、加東市との連携講座「子育て支援講座」を開催した。

この講座は、全4回実施するもので、最終回となる今回は、幼年教育コースの橋川喜美代教授が、「乳幼児の魅力～驚くべき能力とそれを育む環境とは～」と題し、講義を行った。

早期教育の現状や、豊かな心を育む方法についてなど、日々の子育てに直結した内容に、受講者は大きく頷きながら、熱心に耳を傾けていた。



— 9 月 主 要 日 誌 —

月 日	事 項
9月1日(月)	附属小学校及び附属中学校ひょうご 海外研修員を受け入れ(～27日)
2日(火)	大学院学校教育研究科教務委員会(第 5回) 学校教育学部教務委員会(第5回)
3日(水)	連合学校教育学研究科代議委員会(第 4回) 連合学校教育学研究科教授会(第2 回) 大学院学校教育研究科入学試験委員 会(第5回)
4日(木)	教育研究評議会(第6回) 研究科・学部教授会(第5回)
5日(金)	平成27年度大学院学校教育研究科入 学者選抜試験(8月選抜)合格者発 表 学校教育学部入学試験委員会(第2 回)
6日(土)	研修講座「学習指導の多様な展開を 構想する道徳の時間の授業づくり」 大学院説明会(神戸)
9日(火)	附属幼稚園4・5歳児と附属中学校 3年生の交流(～10日)
11日(木)	第2回ハラスメント防止研修
13日(土)	大学院説明会(神戸) 附属中学校体育祭
14日(日)	市町村教育長セミナー(東北ブロッ ク)(15日)
16日(火)	都道府県連携推進本部会議(第2回) 東日本大震災「復興支援ボランティ ア」(～20日)
18日(木)	科学研究費助成事業説明会
19日(金)	学業成績優秀者授業料免除授与式
20日(土)	公開講座「絵画制作」(21日, 27日, 28日) 大学院説明会(福岡) 附属幼稚園4歳児親子活動
21日(日)	海外短期派遣事業(京仁教育大学校, 大邱教育大学校)(～28日)
22日(月)	海外短期派遣事業(ウィスコンシン 州立大学オークレア校)(～10/1日) 韓国京仁教育大学校短期受入事業(～ 28日)

24日(水)	大学院学校教育研究科9月期学位記 授与式 連合学校教育学研究科9月期学位記 授与式 大学院学校教育研究科教務委員会(第 6回) 学校教育学部教務委員会(第6回) 大学院学校教育研究科入学試験委員 会(第6回) 学校教育研究科入学試験委員会(第 3回)
27日(土)	大学院説明会(東京) 大学院説明会(大阪) 附属小学校「うれしのカーニバル」(第 29回)
29日(月)	企画運営会議(第4回)
30日(火)	加東市との連携講座「子育て支援講 座(第4回)乳幼児の魅力～驚くべ き能力とそれを育む環境とは～」

編集発行 **兵庫教育大学総務部総務課**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電 話 (0795) 44-2431

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>